価値創造プロセス

当グループは、存在を期待され「喜ばれる企業」であり続けるため、多様な経営資源を活かした価値創造プロセスを通じ、新たな価値を創造しています。その時々の社会のニーズを反映しながらこのプロセスを進化させていくことで、2030年、そしてその先へ向けて、社会と共に持続的な成果を果たしていきます。

企業理念　人材重視　喜ばれる企業

数字は全て2024年3月期

INPUT

知的資本
- 研究開発費　155億円
- 国内保有特許　1,747件
- 海外保有特許　879件

製造資本
- 設備投資額　135億円
- 製造拠点　12カ国47拠点

人的資本
- 連結従業員数　14,719人

財務資本
- 連結総資産　4,462億円
- 営業活動によるキャッシュ·フロー　376億円

自然資本
- エネルギー投入量　1,381TJ
- 物質投入量　19,699t(単体)

社会·関係資本
- ステークホルダーエンゲージメント ▶P36

ビジネスプロセス

四輪·二輪車関連製品
- シート
- ドアトリム
- 樹脂部品

その他製品
- 多目的オフロード車用シート
- 水上オートバイ用シート
- 医療用チェア

OUTPUT

第15次中期経営計画　業績目標

売上収益4,800億円　営業利益440億円

マテリアリティKPI

社会	魅力的な革新技術開発	研究開発費に占める革新技術開発費比率	2021年3月期比 +3%
社会	製品品質の向上	シートサプライヤーIQS評点※1	7.0P
環境	気候変動対応	CO_2排出量削減率※2	2020年3月期比 △25%
環境	資源循環有効活用	廃棄物削減率※3	2020年3月期比 △25%
環境	資源循環有効活用	取水量削減率と排水による環境影響※4	2020年3月期比 △15%
環境	自然との共生	テイ·エス テックグループによる寄付制度の創設	
企業基盤	人権の尊重	エンゲージメントレーティング※5	BB
企業基盤	人権の尊重	サプライヤーサステナビリティガイドライン遵守率※6	100%
企業基盤	多様性を活かした働き方改革	多様な人材の管理職比率※7	33.3%
企業基盤	ガバナンスの強化	コーポレートガバナンス·コード遵守率	100%

※1 株式会社ジェイ·ディー·パワー ジャパンによる日本自動車初期品質調査SM(Initial Quality Study、略称IQS)の評点。新車購入者を対象に不具合経験を調査し、車100台当たりの不具合指摘件数として集計される。数値が低いほど品質が高いことを示す。
※2 当グループの事業活動に伴うCO_2排出量(Scope1+2)の削減率
※3 当グループの生産活動に伴う廃棄物の削減率(残渣、汚泥などは除く)
※4 当グループの工場設備での取水量(使用量)の削減率と、生産活動に伴う排水による環境影響
※5 当社社員を対象とした、株式会社リンクアンドモチベーション「モチベーションクラウド」によるエンゲージメントレーティング。目標とする「AAA」は全11段階中、最上位のレーティング
※6 当グループの取引先(海外を含む)を対象としたサプライヤーサステナビリティガイドラインの遵守率
※7 女性·キャリア採用·外国籍·高齢者·障がい者の管理職比率

OUTCOME

第15次中期経営計画 財務目標

営業利益率 9.2%

ROE 8.5%

株主還元方針

業績に左右されない継続的かつ安定的な還元の実施

製品や事業活動を通じた脱炭素社会への貢献

安心·安全で快適な車室内空間の提供

2030 Vision

Innovative quality company ー 新たな価値を創造し続ける ー